母子通園施設スタッフ研修会
＜研修生からの感想＞

【T ホーム】

- とても勉強になりました。生きるのではなく「生かされている」ということが心に響きました。先生のメル友の数の多さには驚きました。
- いつでもどんな時でも、どんなことでもお母さんが安心して話せる環境作りの大切さを改めて感じました。
- 不安を抱えている母親（家族）と向き合う難しさを日々実感している中で、「ひとりの人間として向き合う姿勢が大切」という先生の言葉が響きました。そして、力量を伴わない中途半端なプライドや気負いを反省させられました。専門性イコール人間性を問われることは、より大きな課題を提示されたようにも思っています。一人ひとりでは限界があるので、スタッフ間でお互いに高めあっていける意識、環境を、環境を作っていきたいと願っています。
- 「ゴールはない」「マニュアルはない」という先生の現在進行形の前向きな姿勢（考え方）に大変共感しました。

【O ホーム】

- お忙しい中、貴重なお話しありがとうございました。親しみやすい先生の人柄と、子どもに対する優しさが伝わってきました。母子通園ということで、保護者の方と接する機会が多いので「コミュニケーション」の難しさを多々感じます。辞書で調べると「コミュニケーション」とは、言語、文字、その他の方法による思想の交換、伝達とありました。先生のおっしゃっていたコミュニケーションとは、思想の交換以外にもっと大切な、相手との気持ちの共感や、自分の地位や外力を外した上で互いに学ぶことの重要性を教えていただきました。先輩たちの力を十分に借りながら、向上する気持ちを忘れずに頑張っていこうと思います。
- 「やりとり」の重要性を意識しつつ記録するという点を今後考えながら記録していこうと思います。
- 最後に印象的な言葉「障害児の親子が生きていく勇気を与える」が胸にきました。またお話しを伺いたいと思いました。ありがとうございました。

【H ホーム】

- 記録が苦手でしたが、「自分が成長する為に記録をとることが大切」と伺い、苦手意識を持たずにやっていきたいと思いました。玩具の提示や遊びへの誘いかけも、子どもの表情が違うから細かく観察していきたいと思います。「人間同士の交流ができる仕事」と言っておられたことが印象的でした。

- 大人でも子どもでも関わり手の資質が問われるのだと思いました。自分自身を高め、お母さんが生きていく勇気が持てるように、寄り添っていきたいと思います。
- 福祉全体を動かすようなエネルギーに満ちた先生と感じました。記録のとり方で「誰がどう関わったか」をきちんととれるよう、ホーム全体で再確認していきたいと思います。
- とてもざっくばらんでストレートにお話される先生で気持ちよくお話しを聞けました。先生の「人が好き」という気持ちが伝わってきて、自分も人との係わりを大切にしていきたいと思いました。次回は先生の「横道にそれたお話」を聞かせていただきたいです。
- 自分は目の前の仕事に追われ、まだこの仕事の醍醐味を実感できずにいるのかもしれないと感じました。「寄り添う」ことでほっとしてもらえるような人になれるよう、「係わり合い」を意識して臨みたいと思います。次回は「保護者との係わり方」のテーマでお話しを伺ってみたいです。
- どのお話も興味深く聞くことが出来ました。特に記録のとり方やコミュニケーションのとり方では、先生のおっしゃる通り、難しく考えすぎて苦手意識を自分で作っていたな、と感じました。見方、考え方をちょっと変えることで、全て変わってくるのだなと感じ、これから参考にしていきたいと思いました。

【K ホーム】

- 長い間福祉の仕事をされてきた先生なので細部にわたり配慮している点、福祉に対する熱い思いなどお聞きすることが出来、改めて「現在の自分の仕事」に対する反省、姿など振り返ることが出来参考になりました。今回のテーマにかかわらず他にもたくさんお話しを伺いたい気持ちです。ありがとうございました。
- 阿部先生は講演の最後に「拍手があるようでは世の中を変えていく必要がある」と話されていましたが、当たり前のことができない難しさや、当たり前のことをしなければならない大切さを改めて感じました。「あえて比べない」という言葉は重みを感じました。
- コミュニケーションが大切だということは頭では分りつつもなかなか思うようにいかないものです。しかし、積極的に言葉をかけ「続けていく」ことが、全てにおいて（子どもとの係わりはもちろんのこと親、スタッフ同士含め）迅速にことが運ぶものだと改めて思いました。やはりいかに角が立たないよう雰囲気を大切にしながら意見を活発に交換するかが今後の課題と思いました。
- 専門家は指導や助言以上に親の不安感を取り除いてください」親のエネルギーが療育を超え、生きていく勇気になるという言葉に感銘を受けました。不安感を取り除いたり、簡単そうで難しい、又自分はどうだろうかと考えさせられました。
- お母さんとの話し合いの中で受け止めて返してあげるということ、分っているようで出来ていなかったと気づきました。記録のとり方では自分の見たことをただ書いていて、誰が見ても分るようには書けていなかったと思いました。今日聞いたことを忘れずに今後に生かしていきたいと思います。

- 今日の先生のお話し一つ一つがグサッと心に刺さる内容でした。常日頃から頭に入れて保育、療育を行っていたつもりですが、実際ははたしてどの程度生かせていたのかと疑問を感じました。今回素晴らしいお話しを聞くことができたので、学んだことを無駄にせず係わり合うもの全てが「輔け」あい職員も子どもも家族もみんなが笑顔で過ごせるような環境作りをしていきたいと思いました。
- 係わり手の「係わり方」を記録しておくことがとても重要だと感じました。相手が分りやすい言葉で、淡々と記すことがとても大切（難しい言葉を並べることの空しさ）ということが実感できました。

【S ホーム】

- 仕事に自信を持った方のお話なので、説得力が感じられました。人との係わり合いを大切にしていることがとても印象に残りました。飾らない自分をしっかり表現できることは簡単に見えるのですが、かなりの経験と学習が必要であると思います。しかし、この職を天職と思いひたむきな態度で続けていくことで、人とのつながりを築いていければと思います。納得できない部分と納得できる部分はありましたが、素直な自分を表現していければと思います。
- 今までの自分の仕事を振り返り、反省し、今回の研修内容を基に今後の仕事に生かせるようにしていきたいと思います。
- 母子共に「今日もたんぽぽに来てよかったな」と思ってもらえるような、楽しみと期待感が持てるような保育を心がけたいと思いました。
- 観点と記録のとり方など、大変勉強になりました。保護者よりご意見などちょうだいしてスタッフ全員で改めて受け止めながら係わり合い続けていきたいと思いました。
- 日々記録のとり方、行動観察の仕方で「これで良いのか？」考えてしまうことがあったので、今日の講演会で得たことを生かしていきたいと思います。また、今まで以上に人との交流を大切にし、自分が成長していけたらと思います。
- 行動観察について、対象の子どもの姿を観察するだけでなく、係わる相手がどう係わったのかを記録することも大事だと感じました。係わり合いながら、安心できる空間を作り出せるといいなと思いました。日々の保育でも子どもたち、お母さんたちと係わりあいながら気持ちを育んでいこうと思います。
- 記録のとり方について、とても参考になりました。子どもの行動だけでなく、保育する側の係わりを記録することで、今後の係わり方のヒントが得られ、子どもの理解に繋がるような気がします。早速実践していこうと思います。

以上